

市第17号議案 令和6年度横浜市一般会計補正予算(第1号)(関係部分)

歳入歳出補正予算内訳 合計: 347,258 千円

【増額補正】 4事業 347,258千円

1 いじめ再発防止に向けた学校体制の強化 合計: 347,258 千円

(1) スクールカウンセラーの配置の充実 166,308 千円

(単位:千円)

事業名	5月補正前 現計予算	補正額	補正額				5月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
スクールカウンセラー活用事業	653,212	132,659	44,219	597	-	87,843	785,871
高等学校教育費 (スクールカウンセラー配置)	20,219	20,247	6,715	117	-	13,415	40,466
臨床指導医等派遣事業 (スクールカウンセラー配置)	5,968	13,402	3,853	120	-	9,429	19,370
合計	679,399	166,308	54,787	834	-	110,687	845,707

いじめ、暴力行為等の問題行動及び不登校等の未然防止や、早期発見、早期対応に向けて、児童生徒や保護者への心理的支援、教職員への助言等を行う、心理の専門職であるスクールカウンセラーを各学校に配置しています。

令和6年3月に公表したいじめ重大事態調査報告に係る再発防止の取組として、スクールカウンセラーを追加配置し、教育相談体制の充実を図ります。

〈実施概要〉

ア 中学校

新たにスクールカウンセラー37名を配置します。

- ・ 中学校 週1回 → 週2回

イ 高校

新たにスクールカウンセラー12名を配置します。

- ・ 高校(全日制) 週1回 → 週2回

ウ 特別支援学校

新たにスクールカウンセラー4名を配置します。

- ・ 高等特別支援学校等3校 週1回 → 週2回
- ・ その他未配置校9校(※) 未配置 → 週1回 (※ 浦舟特別支援学校を除く)

(2) 校内ハートフルの中学校全校実施 180,950 千円

(単位:千円)

事業名	5月補正前 現計予算	補正額	補正額				5月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
不登校児童生徒支援事業 (校内ハートフル事業)	371,594	180,950	51,205	904	-	128,841	552,544
合計	371,594	180,950	51,205	904	-	128,841	552,544

校内ハートフル事業では、中学校の特別支援教室等の別室に、支援員が週5日常駐し、いじめなど、様々な要因により、不登校や不登校傾向となった生徒に対して、安心できる居場所と学びの機会の確保を目指しています。

新たに66校で開始することで、全中学校において校内ハートフル事業を実施します。

〈実施概要〉

- ・ 80校→146校(66校)
- ・ 実施時期: 令和6年9月～

# 補正予算 いじめ再発防止に向けた学校体制の強化（参考資料）

## 1 スクールカウンセラーの配置の充実

・一人1台端末を使った健康観察の実施（6月開始予定）



・SCの授業観察等を通じた気になる児童生徒の情報収集  
 ・ICTの力も活用した、未然防止、早期発見・対応の仕組みの検討

○心理の専門職であるSCの配置を充実させることで、

- ・SCが、授業時間、休み時間、部活動等、児童生徒が集まる場面で関わり、観察し、児童生徒の小さなSOSを見逃さないように、相談チャンネルを増やす
- ・SCが、いじめ防止対策委員会等の校内委員会へ参加し、専門的視点からの助言を行うなど、学校生活全般への援助に参画する

等、いじめや不登校等の未然防止、早期発見・対応に向けた、組織的支援を実現します。

## 2 校内ハートフルの中学校全校実施

○いじめ等、様々な要因によりクラスで過ごすことが辛い生徒に、常駐する支援員が寄り添い、教職員が組織的に関わりながら、「安心して過ごせる居場所」と「学びの機会」を提供します。



安心して  
落ち着ける環境



支援員による  
寄り添い・相談



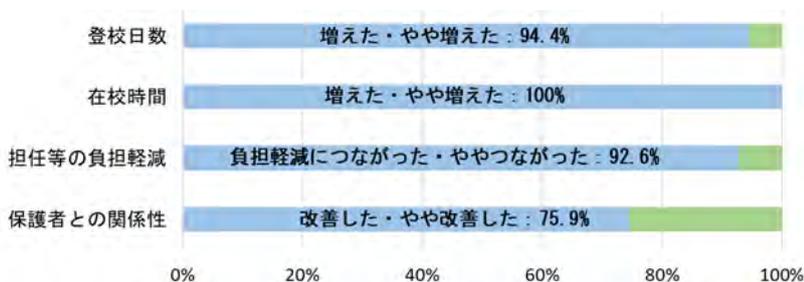
個に応じた学び



ICTの活用(どこでもスタディ・  
オンライン教材)

○利用生徒の 77%が「安心できる場所」と回答 87%が「自分のペースで学べる場所」と回答

○実施校アンケート結果



- ・生徒の登校日数・在校時間増
- ・担任の家庭訪問等の負担軽減
- ・保護者との関係性向上